

施工後、現場対応でリモコン相互干渉防止にする場合

- ・'03アプリコットN1/N1A(TCF4110,4110A,4111,4111A,4211A他)
- ・'03アプリコットN2/N2A(TCF4120,4120A,4121,4121A,4221A他)
- ・'03アプリコットN3/N3A(TCF4130,4130A,4131,4131A,4231A他)
- ・'03アプリコットN4/N4A(TCF4140,4140A,4141,4141A,4241A他)用)

1. 施工後の対応

万一、連立トイレに正規品のみを取り付けて誤作動した場合は、現場で特注品に切り替えることができます。

この場合は、必ずリモコンと本体に特殊コードラベルを貼ってください。(メンテナンス性向上のため)

特殊コードラベルの品番は、特殊コードラベル一覧*をご確認ください。

*アフターサポート期間が終了したため、ラベルの発注はできません。

2. 連立トイレの配置例

正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2	正 規 品	(タイ 1 プ) 1	(タイ 2 プ) 2
(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5	(タイ 3 プ) 3	(タイ 4 プ) 4	(タイ 5 プ) 5

3. 連立トイレ対応方法

<<本体側の設定方法>>

※設定変更が下記説明書で行えない場合は、**TOTOメンテナンス**へご依頼下さい。(有償)
 ※作業途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 リモコン特殊コード切り替え方法(ウォシュレット本体側)

作業の前に…

特殊モード設定作業はベースプレートからウォシュレットを取り外しても作業ができます。狭いトイレなどの場合は、ベースプレートからウォシュレットを取り外しての作業をお勧めします。

※途中で失敗した場合は、もう一度最初からやり直してください。

手順 1

本体操作部の **運転 入/切** を手順3まで押し続ける。

10秒後に本体の全表示ランプが2秒間点灯します。

ランプ表示部

この間 2秒	● 運転	● 便座	● 脱臭	● 節電	● センサ	● 緑色点灯				
	○ 運転	○ 便座	○ 脱臭	○ 節電	○ センサ	● 緑色点灯	● 緑色点灯	● 緑色点灯	● 緑色点灯	● 緑色点灯
	○ 運転	○ 便座	○ 脱臭	○ 節電	○ センサ	○ 緑色点灯	○ 緑色点灯	○ 緑色点灯	○ 緑色点灯	○ 緑色点灯

ランプが点滅(緑色)したら最初からやり直してください。 <<下図は例です>>

本体操作部

運転	ビデ	おしり
入/切	入/切	入/切

手順3まで押したまま

手順 2

運転 入/切 を押したまま本体の全ランプが点灯(2秒間)すると、**すぐに** **ビデ 入/切** を5秒以上押す。

5秒後に手順3の設定コードのようにランプが点灯します。

※途中で失敗した場合は、もう一度手順1からやり直してください。

手順 3

運転 入/切 を押したまま、 **おしり 入/切** スイッチを押す。

おしり 入/切 を押す度に標準→特1→特2…

特9→標準と設定が切り替わります。

本体表示部

●…緑点灯 ×…消灯

設定	運転	便座	脱臭	節電	センサ	設定	運転	便座	脱臭	節電	センサ
標準	●	●	●	×	×	特5	×	×	●	×	×
特1	×	●	●	×	×	特6	●	×	×	×	×
特2	●	●	×	×	×	特7	●	●	●	●	×
特3	×	●	×	×	×	特8	×	●	●	●	×
特4	●	×	●	×	×	特9	●	●	×	●	×

本体操作部

運転	ビデ	おしり
入/切	入/切	入/切

手順 4

※手順1、2の操作で設定したコードを確認することができます。

運転 入/切 から手を離れた時点で設定したコードになります。

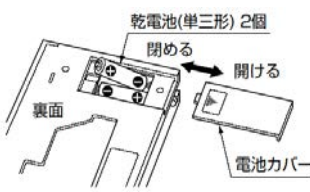
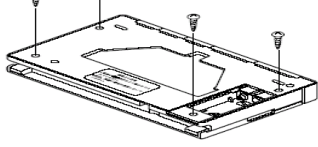
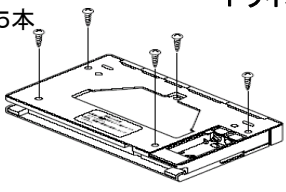
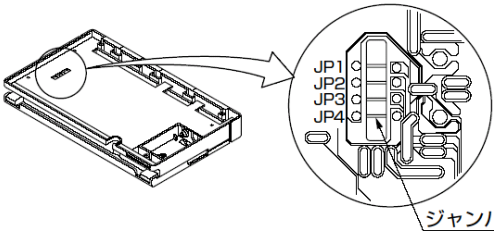
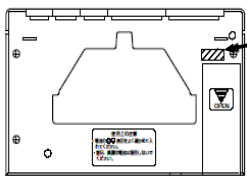
手順 5

コードラベル

ウォシュレット本体の背面に切り替え後の特殊コードラベルを貼る。

※リモコン側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

<<リモコン側の設定方法>>

手順	リモコン特殊コード切り替え方法(リモコン側)																																																							
1	 <p>①リモコンハンガーからリモコンを取りはずす。 ②電池カバーを開けて、乾電池を取りはずす。 ③「止」SWを押したままにして、液晶表示が消えることを確認する。 (乾電池が入ったままだと切替わらない場合があります。)</p> <p>ご注意!! 電池を必ず抜いて作業を行ってください。 電池を抜かないと連立モードに切り替わりません。</p>																																																							
2	<p>【ホシデン製】 ◎ねじ: 4本</p>  <p>【SMK製】 ◎ねじ: 5本</p>  <p>リモコン裏面のねじ4本または5本をプラスドライバーではずし、裏板を取りはずす。</p>																																																							
3	 <p>ご注意!! ◎ジャンパー線の切断は、切りまちがえないように注意して行ってください。 ◎ジャンパー線の切りくずがリモコン内に入らないように注意してください。</p> <p>◎: つながったまま ×: 切断</p> <table border="1" data-bbox="199 1153 949 1355"> <thead> <tr> <th>コード</th> <th>標準</th> <th>特1</th> <th>特2</th> <th>特3</th> <th>特4</th> <th>特5</th> <th>特6</th> <th>特7</th> <th>特8</th> <th>特9</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>JP1</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>JP2</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP3</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> <td>◎</td> <td>◎</td> </tr> <tr> <td>JP4</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>◎</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table> <p>リモコン基板上の3本のジャンパー線を、左表にしたがってニッパで切断することにより特1～特9へ切り替える。</p>	コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9	JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎	JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎	JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×
コード	標準	特1	特2	特3	特4	特5	特6	特7	特8	特9																																														
JP1	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×	◎	×																																														
JP2	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	◎	◎																																														
JP3	◎	◎	◎	◎	×	×	×	×	◎	◎																																														
JP4	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	×	×																																														
4	<p>①裏板をねじでリモコンに取り付ける。 ②リモコンに乾電池を入れて、リモコンハンガーに取り付けてください。 ◎乾電池の入れかたは、手順1を参照してください。</p>																																																							
5	 <p>例 リモコンコード特1 このリモコンは特1タイプの本体のみを操作できます。</p> <p>切り替え後の特殊コードラベルを貼る。 ◎リモコンの裏面に貼付してください。</p>																																																							

※1 ウォッシュレット本体側の切替作業終了後、必ず作動確認を行ってください。

※2 基板内部を扱う作業になりますので、静電気及び取り扱いには十分ご注意ください。
(内部精密機器を破壊するおそれがあります。)